

2024年10月31日

株式会社池松機工

代表取締役社長 長井 敏哉 様

公益財団法人 地方経済総合研究所

代表理事 笠原 慶久

## モニタリング検証報告書

### 1. 検証の対象および目的

本検証は、以下の期間において、株式会社池松機工（以下、池松機工）が設定した KPI を対象に実施した。

また、本検証は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書（以下、評価書）に掲げる KPI の進捗を確認することを目的としている。なお、評価書は国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り 2022 年 9 月 30 日に発行した。

#### 【検証期間】

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

### 2. 検証の方法

評価書に掲げた KPI について、担当者へのヒアリングを基に、検証を進めた。なお、進捗の妥当性は、適宜疎明資料を受入れることで確認している。

### 3. 検証期間における特記事項

5 軸加工機の導入	「技術開発」をコンセプトに、研究開発やインターンシップなどの研修での利用を想定して導入。開発業務による社員の働きがい向上や、社員へのモノづくり教育でも活躍中。これからは「開発もできなければ先がない」との考えのもと、当社の持続可能性向上に貢献している。
生産管理システムの導入	受注～出荷までをバーコードで一元管理できるシステムを導入。業務効率が大幅に改善し、残業は5年前の半分以下にまで削減できている。また、顧客からの問い合わせに対し、クイックレスポンスが可能で、信頼獲得にも貢献している。

#### 4. 検証結果

ヒアリングを基に、検証結果を以下の評価基準を参考に、次の通りまとめた。

重要課題	取組事項	KPI	実績	評価
顧客ニーズや時代変化に対応した製品づくり	DX を駆使したスマート工場	DX の活用による生産効率 (非公表)	—	—
	多面パレット搭載設備の継続的な導入	多面パレット比率 (2025 年に 60%)	48%	A
環境・社会に配慮した事業活動	事業活動における環境保全	CO2 排出量 (2030 年に 2020 年比 30%削減)	▲10%	A
	EA21 の推進	廃油、廃プラ等リサイクル率 (100%継続)	100%	A
	インターンシップ、工場見学などの受け入れ	実施回数 (受入れ人数 2 人/年 継続)	23 人/年	S
	地域イベントへの参加	参加者数 (非公開)	—	—
持続可能な組織づくり	健康経営の取組み	健康経営優良法人 (認定継続)	2019 年より継続中	A
	資格取得支援	就業に必要な資格取得率 (100%)	100%	A
	人権教育の取組み	社内人権研修回数 (年 2 回)	1 回	B

#### 【評価基準】

S : 目標を大きく上回る A : 当初の期待通り B : 目標を下回る C : 目標を大きく下回る

以上